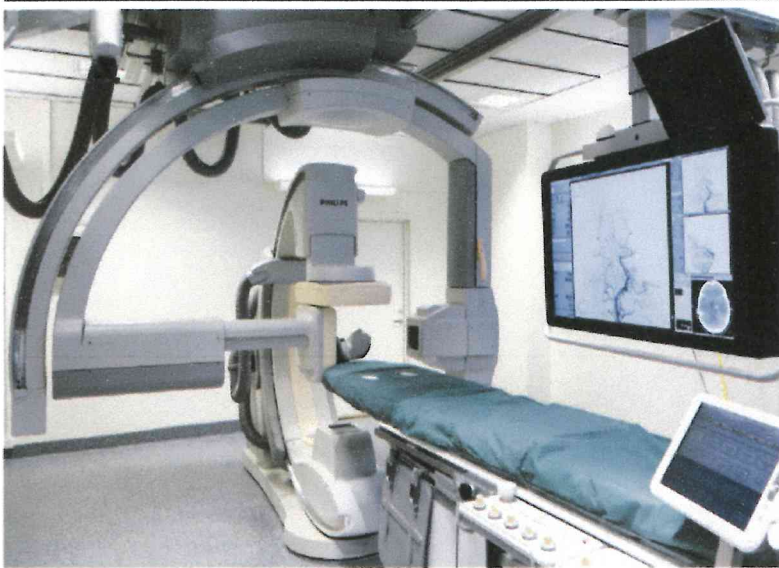


# 秀友新聞

責任者 長橋 貴大  
行橋 第4号  
発行日 平成29年11月1日

## 「最新鋭の血管造影検査装置」

### を導入しました



フィリップス社製「AI lura Clarity FD20/15」

当院では血管造影エックス線診断装置を更新し、フィリップス社製「AI lura Clarity FD20/15」を九月二十五日より稼働しています。この装置は脳や心臓などの血管にカテーテルという細い管を入れて血管の形状を確認する血管造影検査に用いますが、心臓の細くなった血管を広げる治療や、血管の内側から脳動脈瘤の処置を

する血管内治療にも使用します。血管内治療では1ミリ以下の細いカテーテルを、幾重にも枝分かれした血管の中を進めて治療部位に到達させるため、血管やカテーテルを映し出すエックス線透視画像が鮮明でなければいけません。今回導入した装置はこれまでのシステムを改良した最新のエックス線検出システムと、58型の大型高精細モニターを採用していることで、血管内治療で求められる鮮明なエックス線透視画像が得られるようになりました。また、同時に二方向

のエックス線透視画像が得られるので、より安全に血管内治療を行うことができます。立体的な画像である三次元画像は様々な方向から患部を観察できるため、脳動脈瘤の血管内治療には欠かせない画像となります。精度で瞬時に得られるのもこの装置の特徴です。検査や治療ではエックス線を使用するため放射線の被ばくが気になる場所です。この装置はこれまでより少ないエックス線でも画像を鮮明に映し出す最新の画像処理機構を搭載しているもので、今までと比べて大幅な被ばく低減を実現しております。患者様には安心して検査や治療を受けて頂くことができますと考えております。

医療・介護分野のロボット普及・推進を図り、現場労働負担軽減や利用者の日常生活動作向上を目的とし、一般社団法人北海道へ

### 北海道ヘルスケア・ロボット協会発足



放射線科 阪井科長

ルスカア・ロボット協会が札幌市で設立され、協会理事長に当法人の藤原理事長が就任されました。



糖尿病外来 山浦医師

### 甘くない糖尿病のお話

平成二十九年四月より毎週水曜日の午前中に糖尿病(一般内科)外来を担当させて頂いたことになりました。山浦英樹と申します。今回、私の専門である糖尿病のお話をさせて頂きます。

日本国内で糖尿病が強く疑われる人の割合は、人口の12.1%であり、男女別では男性16.3%、女性9.3%であります。また、糖尿病が強く疑われる人は約千万人と推計され、平成九年以降増加し続けています。糖尿病の可能性を否定できない人も約千万人と推定されており、治療の状況ですが糖尿病が強く疑われる人のうち、現在治療を受けている人の割合は76.6%であり、男女別に見ると男性で78.7%、女性で74.1%であり、男女とも有意に増加している一方で四十歳代男性では治療を受けている割合が他の年代よりも低いことが判っています。

ります。当院の専門分野であります脳神経分野の病氣(脳梗塞や脳出血等)を発生させていることが多く見受けられます。その他に足の指先が痺れてくる神経障害、体が浮腫んできて倦怠感が強くなる腎障害、視力低下や視野異常を来し、失明の原因にもなる網膜症、心臓突然死の原因にもなっている心筋梗塞等様々な合併症を発生させるため早期の発見や治療が必要です。私自身、糖尿病以外にも軽い腎臓病、高血圧、不整脈、呼吸器疾患等も診察いたしますので何かお困りのことがございましたら御相談にお越し下さい。これからも患者様の立場に立った医療を心がけるよう精進して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

#### 編集後記

もうすぐ冬がやってきます。インフルエンザの予防接種も始まっており、予防のためにもぜひ受けて頂きたいと思っております。あと二ヶ月で今年も終わりますが、来年は成年です。過去の成年では、一九四六年にNHK「のど自慢素人音楽会」(後のNHK「のど自慢」)が放送開始となったそうです。成年だけに「ワン」ステップ上がれる年になるといいですね。